



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、 7-16 Sugawara-cho、 Kawagoe、 Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 19-12

6月号

発行2018年6月12日

Chartered 1998

会長	吉野 勝三郎	クラブ会長主題	「クラブ20年の歴史を振り返り、EMCにつなげよう！」
副会長	林 京二	国際会長主題	「Let Us Walk in the Light-Together ともに、光の中を歩もう」
	松川 厚子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement ワイズ運動を尊重しよう」
会計	山崎 純子	東日本区理事主題	「Extension Membership & Conservation 広げよう
書記	森下 千恵子		ワイズの仲間」
		関東東部部長主題	「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」

6月
 すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。
 ローマの信徒への手紙 11章36節

For from him and through him and to him are all things.
 To him be the glory forever! Amen.
 (Romans 11:36)

2018年5月の統計 (5月18日)

在籍11名 出席者8名 出席率73%

2018 6月例会プログラム

日時：6月23日(土) 午後4:00～
 場所：川越YMCAセンター 2階

- ・開会点鐘 吉野勝三郎会長
- ・ワイズソング、ワイズの信条 一同
- ・川越クラブ次年度活動計画について
- ・川越クラブ20周年について
- ・その他
- ・閉会点鐘 吉野勝三郎会長

2018年度5月例会報告

吉野 勝三郎

“さいたま市国際NOGネットワーク” 代表 大迫裕男さんに卓話をお願いしました。大迫さんは、この“さいたま市国際NOGネットワーク”に加盟している“外国人119ネットワーク”の事務局長でもあられ、因みに、埼玉YMCAもこの組織に加盟しています。まずは、埼玉YMCAの創立時のことを話してもらいました。

当時、大迫さんは、クリスチャンとして、キリスト教を広めるための伝道に熱心で、YMCAの活動に時間を割くことに必ずしも好意的ではなかったようですが、しだいにYMCAとワイズに魅かれ、埼玉YMCAでは理事長も務められました。その中でも、得意のスペイン語と英語を駆使しての、特に、長年スペイン語圏の多く人達の人生相談、生活相談にのって、貴重な体験をされてきました。“外国人119ネットワーク”は、埼玉YMCA浦和センターで、毎週火曜日の午後7:00～9:00に定例会を持っておられます。当日配布された“外国人119ネットワークの紹介と会員募集”の一部を引用しますと、

「ー今、日本で暮らし不安に駆られたり困ったりしている外国人がたくさんいるのです。そんな人々をサポートしているNPOが、“外国人119ネットワーク”です。ーフィリピン、ボリビア、ブラジル、中国の人々からの相談が多くなっています。」

埼玉ワイズメンズクラブでは、1980～1981年に第5代会長も務められています。埼玉クラブでは、1985年の10周年記念では、カードゲームの“UNO”を大量に販売して、その収益金30万円を埼玉YMCAに寄付されていることも知りました。このように、素晴らしい働きを継続しておられる先輩の聲咳に接することができた例会となりました。都合で、例会間近でのお願いを快

く引き受けて下さいました大迫裕男さんに感謝します。大迫さんは、現在ワイズを離れておられますが、復帰されることを、切望いたします。大迫さんの卓話の後には、6月2日・3日に沼津で開催される、「第21回東日本区大会」のこと、8月23日（木）に予定している、「足利ココファーム バス旅行」のことなどを相談いたしました。



東日本区大会報告

山本 剛史郎

2018年6月2日（土）～3日（日）と沼津において、第21回東日本区大会が行われ、参加してきました。場所はプラサヴェルデという沼津にあるコンベンションセンターで広さなども400～500人規模の大会を行うのにちょうど良い広さの施設で、沼津駅から徒歩3分というアクセス面においてもとても良い施設でした。そして参加者は総勢477名という最近では一番人数も多い、盛会で、川越クラブからも（敬称略で）利根川太郎、利根川恵子夫妻をはじめ、吉野勝三郎、牛村永代、森下千恵子、吉田公代、そして山本剛史郎とメンバー7名、山本葉子のメネット1名、山本希歩、山本真和のコメット2名と総勢10名の参加でした。

まずはオープニングセレモニーとして飛龍高校和太鼓部の演奏で始まりました。丁度良い広さの中、体中が振動するような響きでとても迫力あるものでした。そしてバナーセレモニー、東日本区アワー、記念講演へと続きました。その一方、ブース出展では川越クラブからは芋菓子2種類を60袋持って行って販売しました。今回、家族で参加したこともあり車で芋菓子などを運んだのですが、圏央道の渋滞に巻き込まれて予定よりかなり遅い到着となってしまう、先に来ていた利根川太郎さんがブースの設営、芋菓子などの運搬で活躍されました。しかし、そのおかげもあってか、芋菓子60袋は1日目の夕方には完売することができました。季節限定の生のサツマイモ、紅赤の販売ではなく、通年、販売できる芋菓子で良かったと思います。

晚餐会は1階会場において行われたのですが、今回はホストの沼津クラブの工夫があり、とても楽しませてもらいました。まず、三島コロケや静岡黒はんぺんの屋台はもちろんのこと、タンクを背中に背負っての生ビール販売は会場を盛り上げ、とても楽しませてもらいました。我が家の子どもたちも懇親会での食事をとても楽しんでいましたが、途中で飽きてしまい、利根川太郎、利根川恵子夫妻の膝にのせてもらって

ました。また、会場内を歩き回っていましたが、綺麗な指輪やイヤリングをしている人を探し回っていたようです。そしてアピールタイムでは富士山部、アジア太平洋地域大会などいろいろなアピールの時に壇上に上がらせてもらい、とても喜んでいました。



余談エピソードですが、懇親会終了後、家族でホテルに帰る途中、伊東クラブの久保田康正さんに会いました。久保田さんは我が家の子どもたちに「久保爺（クボじい）が何でも好きなものを買ってあげるよ。」と言って、近くのコンビニに連れていってくれました。すると子どもたちは「これが欲しい。」と言って100円くらいのお菓子を選んでいました。一緒にいた榎本博さんも「もっと高いものを買ってもらえよ。」と言って笑っていましたが、子どもたちはそのお菓子で大喜びでした。久保田さん、本当にありがとうございました。



大会終了後、私たち家族は三島スカイウォークに行きましたが、富士山、駿河湾も見えて、そこでも楽しい体験ができました。なぜか子どもたちは水蒸気の出るひまわりを気に入っていましたが……。

BF 代表・ロビンソンさんご夫妻を受入れて

利根川 恵子

BF 代表の派遣・受入れは、ワイズメンズクラブが国際的な組織であり、各クラブ、各メンバーもその一員であるということを実感できる素晴らしい事業である。特に受入れについては、いながらにして国際交流、異文化理解、ワイズ理解ができるので、国際派のメンバーが多い川越クラブは、いつも受入れの打診があると喜んで受け入れている。

今回は、カナダ・カリブ海地域、マリタイム区、フレデリクトン・エプシロン・クラブの Todd & Karen Robinson さんを、川越クラブが関東東部を代表して受け入れた。Todd さんはマリタイム区の次期理事である。マリタイム区は 17 クラブ、120 名のメンバー数で、区大会を終えての来日とのことであるが、東日本区とはサイズが違い、区大会もかなり雰囲気違うと語っていた。区の中に部は無く、したがって部長はいない。Todd さんは、高等学校の工業科（機械・溶接）の教員で現職であり、理事の仕事に使える時間が限られているので、部長を置くことも考えていると、日本での部長の役割に深い関心を寄せていた。

お二人は、5 日の午後 3 時頃に、甲府クラブの佐藤会長が運転する車で川越東武ホテルに到着した。埼玉 YMCA 川越センターを訪問する時間まで少し余裕があったので、川越の街を散策し、クレアモールのにぎわい、猫カフェ、蔵造りの街並み、時の鐘、熊野神社の石の足裏マッサージ、川越祭りの山車などを疲れも見せずに歩いて見学した。川越の住人である私も知らなかった、お土産屋さんの奥の足湯喫茶なども発見し、同行の私も楽しませていただいた。

17時30分、予定より少し遅れ川越センターに到着。青木関東東部書記（千葉クラブ）、吉野会長、河合センター長、佐々木先生などに迎えられ、放課後ディサービスの様子を見学した。小谷総主事から贈呈された新しい YMCA のロゴ入り T シャツをたいへん喜んでいらした。さらに、昨年東日本区大会のポロシャツも翌日お渡しし、帰国後クラブでおみやげの抽選会の景品に使いたいと大喜びであった。

関東東部主催の歓迎夕食会は、長尾部長、青木書記出席のもと、エルミタージュで開催された。川越クラブからは、吉野会長、吉田さん、牛村さん、鎌田さん、森下さん、利根川太郎、恵子が出席し、ワイズライブ、趣味、海外旅行等々、気が付けば時間は 9 時半を回っていたというほど、楽しいひと時を過ごした。Todd さんからも、日本のワイズの歓迎があまりにも素晴らしく、自分が受入れの立場になったら、どのようにプログラムを組もうかと考えてしまう、との賛辞があった。

翌日、6 日は、午前 9 時に埼玉県立川越工業高校訪問。清水雅己校長先生の細かな心配りに感動する見学であった。まずエントランスホールにカナダの国旗、学校紹介のパワーポイントによるプレゼン、1 時間半におよぶ学校施設、授業案内、生徒が作った小さな作品をガラポンで贈呈など、本当に温かい、手厚いおも

てなしをしていただいた。そして 2 時間後には、学校のホームページに訪問の様子がアップされていた。余談であるが、Karen さんは家庭科の教員なので、染色、織物、服飾デザイン、縫製のクラスに深い興味を示していた。

さて川越工業訪問後は喜多院へ行く予定であったが、Todd さんからのリクエストで、前日川越のホテルに到着する寸前に見かけた自動車修理工場に行きたいとのことで、彼の記憶をもとにその工場を探したがとうとう見つからず、他の工場を 2 軒とイエローハットに立ち寄って、時間切れとなった。自分の生徒に日本の自動車修理工場の写真を撮ってくると約束したそうで、とても残念がっていたが、致し方なく、西日本区での滞在に期待することとなった。

また、偶然 5 日の夜に国際 STE-YEEP 事業主任である Rita から、宮崎クラブ推薦の STEP 応募生のホストファミリーが未だ決まらないので、応募者が希望している、アメリカ、カナダ、オーストラリアのワイズメンに受け入れを促すメールのコピーを受け取った。そこで Todd と Karen に話したところ、受入れを承諾し、一気にホストファミリーの問題が解決したため、西日本区関係者から過分な感謝をいただいた。ワイズの絆のなせる技である。

9 日、10 日の西日本区大会でお二人に再会したが、時差ボケからも解放され、元気に活動に参加されていた。残り少ない日本での時間がさらに充実したものとなることを祈る。



関東東部主催歓迎夕食会



埼玉県立川越工業高校清水雅己校長先生と

ワイズメンズクラブ国際協会 第21回西日本区大会 報告

2018年6月9日(土)・10日(日)

ANAクラウンプラザホテル神戸

利根川太郎

6月9日から10日の日程で、六甲部を大会ホストとして第21回西日本区大会が神戸市で開催され、恵子と参加して参りました。

東日本区からの47名を含む766名の参加者を数え盛会となりました。6月5日から6日に川越クラブにお迎えしたBF代表のトッドさんとカレンさんも参加してくれました。

プログラムの概要は6月8日の理事長杯ゴルフ大会と前夜祭から始まり、9日に西日本区大会第1日目、IBC/DBC締結式、懇親会、フェロシップアワー、10日に聖日礼拝、西日本区大会第2日目、エクスカッションでした。

大会は西日本区理事の大野勉ワイズの開会宣言と点鐘で始まり、神崎清一・日本YMCA同盟総主事、次期アジア太平洋地域会長・田中博之ワイズ、東日本区理事・栗本治郎ワイズの来賓挨拶がありました。

大野勉ワイズは、挨拶の中で1年間のテーマ「すこやか、しあわせ、ワイズとともに」に触れ、1年間全てのイベントに着用し「六甲部の緑を表現した」ジャケットをアピールしていました。

大会の基調講演は、岡山県出身の女子マラソンメダリスト有森裕子氏です。有森氏は現在「NPO法人スペシャルオリンピックス日本」理事に就任されています。

スペシャルオリンピックスとは、知的障がいがある人にスポーツをする場を提供するもので、ジョン・F・ケネディの妹のユニス・ケネディ・シュライバーが自宅の庭を開放して知的発達障害のある人たちを招いてデイキャンプを行ったのが始まりだそうです。「オリンピックス」と複数形なのは、日常のトレーニングから地区大会、全国大会、さらに世界大会の全ての場を指す言葉として、大会開催だけに限らない広汎な支援を表しているからです。有森氏は、ご自身が股関節脱臼を持って生まれ、全てに自信を持ってない子ども時代から女子マラソン選手として成長した背景を語り、障害がある人と健常者は何ら変わりがない、違いはただ、チャンスと場が与えられるか否かであると熱く思いを語ってくださいました。

本大会に引き続いて行われたIBC/DBC締結式では、神戸ポートクラブとチェンライクラブがIBC、宝塚クラブと鹿児島クラブ、神戸学園都市クラブと岡山クラブが、それぞれDBCを締結しました。

懇親会は、神戸華僑総会舞獅隊の賑やかなライオンダンスではじまり多くのワイズメンと楽しい時間を共有しました。懇親会の後は、DBC北九州クラブの松田四治会長、曾我部久ワイズ、宮川詩麻ワイズと深夜まで語り、とても有意義な時間を過ごすことがで

きました。

台風の接近で荒れた天気が予想されましたが、さすがに行いのよいワイズの大会、二日間とも雨に降られることなく、エクスカッションまで大いに楽しんだ大会となりました。



トッドさん、カレンさんとうれしい再会



DBC北九州クラブの(左から)宮川さん、曾我部さん、松田さんとお別れ前に1枚。又お目にかかりましょう!

YMCA 報告

★夏休み子ども短期講習会(水泳・体操・英語) & キャンプのご案内

今年も、バラエティーに富んだサマープログラムが実施されます。6月13日から一般募集が始まっていますのでお申込はお早めに!

- ◆水泳・体操子ども短期講習会(年少~中3/所沢)
- ◆キャンプ(年少~中3/1泊2日~2泊3日)
- ◆English Summer Camp(年中~小6/1泊2日)
- ◆English Summer School(年少~小6/4日または2日間通い/浦和・所沢)
- ◆English PreSchool(2~3歳/3日間通い/所沢)

【詳細・申込方法はパンフレットをご覧ください】

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2018/20180528summerguide.pdf>